

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ささゆり苑 痴呆対応型共同生活介護事業所
日付	平成16年9月9日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	養護老人ホームほか介護歴 13年 病院での老人性痴呆疾患専門相談チーム員歴 5年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<p>入里から離れた山頂近くに位置し、緑に囲まれたホームでした。まず位置に驚くが、入里離れた不便さを逆にメリットととらえ、地域住民をグループホームへ導入するシステムを組み立てています。ホーム周辺に田畑を作り農耕ボランティア・小学生ボランティアの受け入れや、餅つき、渡り拍子の訪問等にぎやかに迎え入れておられました。ホーム内は広く、どこからでも光と緑があふれ爽やかな風が通り抜けていました。ホームでの食事時間は大切な交流の場と考え、食事内容を工夫し、何より会話を大切にされていました。職員は同じ意識をもち、入居者中心のかかわりを大切にケアをされていました。入居者と職員の穏やかで、あたたかい雰囲気印象的でした。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>職員全員が高い意識のもと働いていますが、入居者が少ないせいもあって職員数が少なく、職員の勤務日と宿直日を合わせると、休みが非常に少ないのが現状です。今後、職員数と勤務体制の見直しが必要不可欠であると思われ、それがより一層、ケアの質の向上につながると思われまます。</p> <p>家族への働きかけを現在思考中とのことですが、家族会等をつくり、家族間の交流がもてればいいと感じました。</p> <p>事故報告書・苦情受付シート等、書きにくいものであるため、今内容を検討しています。今後は改善し是非活用してもらいたいと思います。</p> <p>ささゆり苑は地域に根付いた、成羽町にとっても大切な社会資源であり、痴呆ケアの向上とともに、入居者の支援に必要な職員の増員を図るなど、法人代表者は努力が必要と思われます。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・ゆったりとした空間で穏やかに過ごすという理念のもと、管理者をはじめ職員全員が同じ意識のもと援助が行われていました。 ・地域密着型のグループホームを目指しており、地域との交流により入居者が社会参加を行えるように努力されていました。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入居者が自然に親しめ、心が落ち着くような生活環境を心がけています。人との交流を大切に、昼食後は職員とともに食堂で過ごしながら昔話を楽しんでいました。また、ホーム外への散策も日課のひとつでした。 職員は、入居者の生活史を十分把握しており、個々を大切に接しようとしていることが感じられましたが、個々の意見をもっと聴いて、その思いが反映されるような取り組みが必要ではないでしょうか。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居時の情報を大切に理解し、本人の体験や興味を生かすことのできる援助を考えて計画実行できています。 入居者が選びやすい選択肢を提示し、自己決定できるような援助を行っています。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・毎月、成羽町社会福祉協議会の職員の介護福祉士が、職員の困っている事を聞いてくれ、それを成羽町のシルバーネットワークで話し合っており、医療・福祉・保健の連携を心がけていました。 ・常日頃から入居者や家族に関心を向け、小さな気付きにも注意をむけ、全体で話し合い統一した関わりができていました。ただ、立地条件として周囲が畑や山林に囲まれて人家から離れているため、入居者が無断で外出した際の対応策を検討することが大切と思われます。些細なことでも問題と思ったことは報告書を作成し記録に残し、問題を未然に防ぐ努力が必要ではないでしょうか。		